

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		環境教室事業費 [親と子の環境教室事業]										
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	7	環境保全費	事業番号	3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	環境			課			環境公害		係	課長名	下村 和郎	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全									総合計画書 (ページ)	99		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市内在住の小学生とその保護者				→ 応募者数							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	環境教室を通じて、環境について関心を持ってもらう。				→ 環境について学んだ人数							
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	市報、ホームページでの広報活動による周知				→ 市報、ホームページ掲載							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	27	24	25						
	成果指標	②の数値	人	25	24	25						
	目標	②の目標値	人	25	25	25	25	25				
目標値設定の考え方 見学先の許容人数等を考慮して、4市全体で100人とし、その数値を均等割りした。												
3 経費	事業費(実績)		円	16,443	27,670	26,999	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	16,443	27,670	26,999						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	15.5	15.5	15.5						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	65,100	65,100	65,100						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	81,543	92,770	92,099							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成3 年度									
	(2) 環境の変化		空堀川流域4市(武蔵村山市、東大和市、東村山市、清瀬市)で「空堀川水環境確保対策会」を組織しており、4市共同の環境啓発事業の一環として環境教室を開催している。 近年、環境問題は多岐に渡るため、水環境以外にも、自然環境、生物環境、エネルギー関係施設等の見学を行い、環境問題に対する関心を高めている。									

事業名称	環境教室事業費 [親と子の環境教室事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	施設見学等を通して、環境について学べる良い機会であるといった好意的な意見を寄せられることが多い。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法： ③その他(市民が環境教室に参加)		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
多数の応募が来るよう、市報等でPRしていく。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記)			
	年度によって参加者数に差があるため、引き続き安定した参加者の確保を目指す。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
現状維持				
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
安定した参加者数を確保し、また環境に対して、より関心を高めてもらうため、魅力ある見学先を検討する。				
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 環境の保全				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
毎年度実施しているため、見学先がある程度固定化している。新たな環境学習の場を探す必要がある。				